



## 福島原子力事故関連情報アーカイブ

Fukushima Nuclear Accident Archive

Title	環境回復の課題と対応 - JAEA の取組み
Alternative_Title	Challenging and perspectives for environmental remediation - JAEA's initiatives
Author(s)	宮原 要(日本原子力研究開発機構) Miyahara, Kaname(Japan Atomic Energy Agency)
Citation	第 5 回環境放射能除染研究発表会要旨集, p.122 5th Workshop of Remediation of Radioactive Contamination in Environment
Subject	企画セッション 2 : 「福島環境回復に向けた環境創造センターの役割」
Text Version	Publisher
URL	<a href="http://f-archive.jaea.go.jp/dspace/handle/faa/109537">http://f-archive.jaea.go.jp/dspace/handle/faa/109537</a>
Right	© 2016 Author
Notes	禁無断転載 All rights reserved. 「第 5 回環境放射能除染研究発表会要旨集」のデータであり、発表内容に変更がある場合があります。 学会は発表の機会を提供しているもので、内容に含まれる技術や研究の成果について保証しているものではないことをお断りいたします。



## 「福島環境回復に向けた環境創造センターの役割」

### 第1部 環境創造センター構成機関からの取組みの紹介

#### KS2-2 環境回復の課題と対応 –JAEAの取組み–

宮原 要（国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門  
福島環境安全センター長）

東京電力福島第一原子力発電所の事故から5年が経過し、福島の復興・再生は着実な進展が見られるものの、多様化している地域・個人からのニーズにきめ細かく対応しつつ、環境回復の取り組みを粘り強く続け、住民の安全安心の確保に貢献することが求められている。

このような状況を踏まえ、福島の環境回復に向けた課題への対応として、①広域の空間線量率評価、②流域圏でのセシウムの移動と蓄積の評価、③個人線量評価、④除染除去物の減容化について、JAEAの取組みを報告する。